

皆が憂いている新型コロナウイルス感染症。その防止のため、各人は様々な情報を集め、保全と他者の命を大切にすること、これがこれほどまでに表現されたことを今まで見たこともない。同じ気持ちで取り組んだ甲斐もあってか、感染者の数は減り、心が少し和んだ。とは言え、まだ油断はできない。第2波、第3波がやってくるといので、ママコミは注意を促している▼各人が各人の命を守ること、また、他者の命を大切にすること、とは人として当然のことであるが、人のために命を投げ出すことは容易ではない。今回事業のことで医療従事者は自分の命が危険にさらされてもその使命に燃え、決して逃げ出すことはなかった。犠牲性と忍耐心を持ち合わせた彼らは恐怖心と戦いながら尽力した。その姿はまるでキリストや聖マリアのようである▼「3密」を避けるようにして、「3K」（きつい、汚い、危険）をも避けようとする人がいる。怠け心がエスカレートして、元に戻るのに時間がかかると。動きたくない、働きたくない。こうして、今他者のためにしなければならぬことでも後回しにし、自分に都合の良いことだけを考えようとする。キリストはこういう人を批判された。私たちはこの状況の中で、祈りながら他者のために果たして何ができるだろうか▼命を与え、大切にしてくださいる神は私たちのすべてを「8K」の映像以上のすべてで見ておられる。「神は王から目を注ぎ、人々をすべてごらんになる」(詩編33より)神の目に美しい私たちであり、ますように。(S)

カトリック御受難修道会・福岡黙想の家
811-4155 宗像市名残1056-1 Tel 0940-32-3222 (9:30~16:30)
Fax 0940-32-3385 Eメール f-mokuso@fmokusou.com

クリスチャン・ライフ・コミュニティ
C L C

ZOOMでみ言葉の分かち合い

CLC(クリスチャン・ライフ・コミュニティ <https://clcjapan.net/>)のメンバーが世話を務め、毎月1回、み言葉の分かち合いを福岡市内の修道院で行ってきたが、コロナ禍で2か月の休止を余儀なくされた。休止期間がさらに長引きそうなので、可能な集いの方法を考え、5月からオンライン会議システムのZOOMを使用しての集いが再開した。普段は月1回の集まりだが、公開ミサがない中で、「主日のみ言葉を分かち合おう」ということになり、現在は月2回のペースで行っている。

毎回7～8人が集い、沈黙の時を持ち、み言葉を聴き、分かち合い、共同祈願を捧げる、という流れだ。世話人の安藤智子さん(西新教会信徒)は「会場に集まっていた時と同じ沈黙、傾聴の雰囲気があります。分かち合っているうちに、み言葉やイエスの姿が心に深く入ってきたり、気づきが与えられたり、み言葉が自分にとって本当に福音として感じられるようになります」と話す。また、「コロナウイルスの影響を参加者それぞれが様々な形で受けていたり、毎回状況が変わるので、分かち合いに実感がこもります」とのこと。

一方、オンラインならではの課題もある。普段は共同祈願をそれぞれ自由なタイミングで捧げることになっているが、オンラインではタイミングを計ることが難しいので、あらかじめ順番を決めるようにした。また、家族が同じ空間にいる人、自分のスペースが確保できない人はオンライン分かち合いに参加しにくい。

参加者は「特に教会で公開ミサがない期間は、霊的な糧を切実に必要としていたし、この分かち合いの時間がその必要に応えてくれた」と感想を述べる。

安藤さんは「人が2人、3人と集まって祈るところに私もいる、というイエスの言葉が本当だと感じました。一人で祈る時には起こらないことが起こり、聖霊の働きを感じます。そのダイナミズムに『教会』を感じます」と語る。

コロナ禍に生きる教会

「この民(神の民)は、いのちと愛と真理の交流のためにキリストによって設立され、すべての人のあがないの道具として用いられ、世の光、地の塩として、全世界に派遣されている」(教会憲章9)。公開ミサが再開されましたが、以前のような形での教会活動は行われない状況が続いています。その中で既存の形や方法にとらわれずに、教会としての交わり、福音宣教活動を行っている取り組みを紹介します。

福島家族支援実行委員会 マスクで支えあう喜び

例年、福島の家族支援プログラム「博多にきんしゃ〜い」を実施している、福島家族支援実行委員会では以前から子どもや母親向けの手作りマスクを支援バザーで販売していた。今回、コロナ関連のニュースの中でマスク不足が報じられ、「今、私たちにできること」として、メンバーたちはマスク作成を急増し配布することにした。

マスクの材料であるゴムが品薄で入手困難であったり、送付先を探すなどの苦労があった。使用者の顔が見えないので、デザイン、大きさ、色、厚さなど、色々な種類のものを作成した。聖小崎ホーム(児童養護施設)、美野島司牧センター、イエスの小さき姉妹の友愛会、保育園などに計260枚を贈ることができた。

実行員会代表の目良信子さん(大名町教会信徒)は「コロナ感染者の深刻な状況、身近に迫ってくる感染への恐怖を感じながらの自粛生活の中で、誰かのために役立つことができるかもという思いが、暗く重い気持ちを軽減してくれました。隣人へ手を差し伸べるための心の軽いフットワークが大切と思いました」と語る。また「この自粛生活で、9年前の福島第一原発事故での避難生活を強いられた人の当時の思い、体験を少しでも実感できたように思います」とも振り返る。

目良さんはこの活動をとらえて、「今、困っている人たちへフットワーク軽く、行動を起こし、支えあう喜びを共有しあえる、生きている教会を見たように思います」と話す。



様々なデザイン・色、大きさの手作りマスク

オンライン青年の集い 青年たちは教会の今！

今年5月に開催される予定だったJapan Youth Day(全国青年の集い、以下JYD)がコロナにより中止となった。そこでJYD実行委員会はオンライン青年の集い「青年たちは教会の今！語り合おう！教会の未来のつくり方」を3回企画、6月14日の2回目の集いにイ・ハヌン神父(行橋教会主任)が登壇した。

オンラインの集いにはスタッフの青年を含め、約30人が全国から集った。福岡教区からは4人が参加した。集いは祈り、司祭からの講話、グループでの分かち合い、と進む。分かち合いはオンライン会議システムの少人数に分割するシステムを利用して行い、各グループ4人で行った。青年たちは全国に散らばる仲間との久しぶりの再会を画面越しに喜んだり、初めての参加者を温かく迎え、フォローしたりしていた。福岡から参加した青年も「有意義な時間となりました。集いを終え、今、とても幸せで、元気をもらいました」と感想を述べた。



オンラインで青年に語りかけるイ神父

登壇したイ神父は「ネットでお話しするのは初めてですごく緊張しました」と語る。そして、「遠く離れていてもキリストのもとにあってみんながつながっていることに大きな喜びを感じました。今の自分自身と周りのありのままの現実と向き合いながら、これからも教会と社会の未来作りのために多くの仲間たちと共に考えていきたいです」と語る。

光丘教会中高生会 LINEで仲間とつながる



LINEでお気に入り・思い出の教会グッズを分かち合う中高生たち。左上がリーダーの牧野美咲さん。

光丘教会(福岡市博多区)では、中高生会をソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)のLINEアプリで行った。5月に2回、1時間の集いを開催。それぞれ4～6人が参加した。中高生会をお世話する同教会の牧野美咲さんが、他教区の友人から堅信クラスをオンラインで行っていると聞き、「大変な時こそ仲間と繋がり、神様との繋がりを感じたり、ミサに与れない時でも教会や神様のことを考えるきっかけになれば」と思い、実施した。

内容は、自粛中の過ごし方、おうちにあるお気に入り・思い出の教会グッズの分かち合い、ジェスチャーゲーム、お祈りなど。「画面越しに顔を合わせるのが初めてだったのと久しぶりなので最初は緊張してたけどちょっとずつ楽しく出来たと思います」とのこと。祈りを一緒に唱えるのは、オンラインではタイムラグがあり少し難しい。また中高生なのでSNSの使用や通信料などの心配が残るという。それでも「みんなの元気な顔が見れて嬉しかった！」と牧野さんは今回の「初体験」を振り返る。

コロナ禍 教皇の言葉

コロナ禍においてもフランシスコ教皇は多くの言葉を発信し続けました。一部を紹介いたします。

◆5月14日、ツイッター

「神がわたしたちを愛われ、この感染症の拡大と、飢えや争い、教育を受けられない子どもが増加するという悲劇を収束へと導いてくださいますように。すべての皆さん、兄弟姉妹として、ともに祈ってください。」

◆5月16日、ツイッター

「この感染拡大のなかで、自らも感染するリスクを負いながら、亡くなった人々を埋葬している方々のために、ともに祈りましょう。死者の埋葬は、いつくしみのわざの一つです。」

◆5月31日、聖霊降臨の日

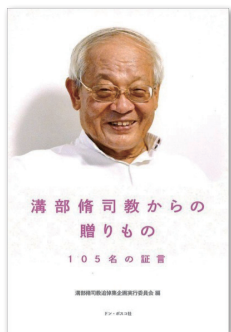
「今回の感染拡大のような、人類が直面する大きな試練を経て、わたしたちは今までとまったく同じではいられません。より良くも悪くもなり得ます。ですから、今こそ聖霊に自分自身を開きましよう。聖霊がわたしたちのこころを変え、より良いものとしてくださいます。」

◆6月10日、「児童労働反対世界デー」を前に「現在の新型コロナウイルスによるパンデミック危機のもと、様々な国々で、深刻な貧困に苦しむ自分の家族を助けるために、多くの子どもたちがその年齢にふさわしくない労働を余儀なくされています。」

◆6月21日、アンジェラスの祈り「パンデミックは人類と環境の関係について振り返る機会となりました。ロックダウンは汚染を減らし、渋滞や騒音のない多くの場所の美しさを表しました。活動が再開した今、私たちが共に住む家の管理にもっと責任をもたなければなりません。」

BOOK 読書専科

☆溝部脩司教からの贈りもの
105名の証言
溝部脩司教追悼集
画実行委員会 編



2016年2月29日、80歳で帰天された溝部脩司教への思いをそれぞれの時代でかわった司教、神父、シスター、教え子、協働者たちが綴る。105名の証言からは神を愛し、人を愛し、共に喜び、共に祈る一人の神父の姿が生きて生きと蘇る。

◇ ◇ ◇
税込価格1100円
ドン・ボスコ社発行
☆ちょっとお話ししませんか
祈りと音楽の調べにのせて
三澤洋史 著



新国立劇場主席合唱指揮者として、作曲家、キリスト者として、さまざまな音楽づくりに携わる著者が自らの体験から得た音楽観、音楽と祈りの深い関係、そして人間の生きる目的や意味について生き生きとした文体で熱く綴る。
税込価格1100円
ドン・ボスコ社発行

不動産全般/売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください

代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092-761-8800
<http://www.iruka-japan.com/>

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション
自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。
費用は医療、介護保険でのご利用になります。
春日市天神山 7-91 TEL&FAX 092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社 代表:エリザベト熊谷

総合建築業
・一般住宅(新築・改築工事)
・鉄骨工事
・RC工事
建築の事なら何でもお気軽にご相談ください
有限会社 森山工務店
ヨゼフ 森山新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎(092) 811-7265

本との出会い 人との出会い 神との出会い

キリスト教書籍・信心用具・ビデオ・DVD・CD
福岡市中央区大名 2-7-7 大名町カトリック教会1F
平日/AM10時30分~PM5時
日曜/AM11時~PM2時(定休日 水曜・祝日)
TEL 092(741)4588 FAX 092(741)4601
URL:<http://www.pauline.or.jp>

年間目標

信じる喜びから
伝える喜びへ

「福岡教区ハンドブック 2020」が発行されました。

各小教区でお受け取りの上、ご活用ください。
また PDF による配布も行っております。詳細は各
小教区に配布のお知らせをご覧ください。

◆記載内容の修正があります。

行事の中止：

7月31日～8月3日 博多にきんしゃ～い
8月27日 福岡地区カトリック女性の会モニカ祭
12月12日 福岡市民クリスマス
60 ページ：健軍教会ミサ時間 (日) 7:30 / 9:30
82 ページ：明光幼稚園 FAX 番号 0966-83-8032

戦後75年 日本カトリック司教団平和メッセージ
すべてのいのちを守るため
——平和は希望の道のり——

6月23日、沖縄慰霊の日「日本カトリック司教
団平和メッセージ」が発表されました。全文と動画が
カトリック中央協議会のホームページに掲載されて
います。https://www.cbccatholic.jp/2020/06/23/20855/
「戦争だけは、どんな理由があっても絶対に起
こしてはなりません。わたしたちキリスト者は、
こうした沖縄の人々の叫びと教皇フランシスコの
言葉に共鳴し、戦争放棄と恒久平和を訴えます。
『すべての人との平和』こそ、神の望みだからで
す。」(メッセージ本文より)

福岡教区広報室アドレス
http://fukuoka.catholic.jp
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

案内板

会合と催し

6月のこよみ

福岡黙想の家ご案内 7・8月

◆感染症の状況によっては集いが中止となる場合もあり
ますので、お問合せ下さい。

7月 4日(土) ロザリオの会
8日(水)～9日(木) 個人黙想
9日(木)～18日(土) 個人黙想
11日(土)～17日(金) 個人黙想
19日(日)～22日(水) 産業医大
8月 1日(土) ロザリオの会
18日(火)～20日(木) 西日本教会青年同盟

※お電話またはメールでお問合せください。
*宗像市名残1056-1 ☎0940・32・3222 FAX 0940・32・3385
Email: f-mokuso@fmokuso.com

真命山諸宗教対話センター - 祈りの集い -

年間テーマ：「祈り」最高の神秘体験として
ご聖体の秘跡を載いてキリストと出会う

日 時：7月9日(木) 10時～15時

内 容：「一致のしるし、愛のきずな」

指 導 者：S. フランコ神父(聖ザベリオ宣教会)

問合わせ先：真命山諸宗教対話センター

次 回：9月10日(木)「ご聖体によるいろいろな奇跡」

☎0968・85・3100 FAX 0968・85・3186

熊本県玉名郡和水町蛸浦1391-7・E-mail shinmeizan@gmail.com

福岡教区創立記念日(1927年創立) 7月16日(木)

私たちが福岡教区民として一致し、神の愛を証して
いけるように共に祈り、歩みましょう。

【7月】

1日(水) 福岡コレジオ会議
福者ベトロ岐部司祭と187殉教者
3日(金) 聖トマ使徒
4日(土) 真命山司牧訪問
5日(日) 年間第14主日 ↑F.ハンター(2000年)
玉名教会司牧訪問
黙想指導(～12日)
↑A.シアニ(2011年 古賀教会)
11日(土) 聖ベネディクト修道院長
12日(日) 年間第15主日 ↑T.リチャール(2011年 箱崎教会)
13日(月) 司教総会(～17日)
15日(水) 聖ボナベントゥラ司教教会博士
16日(木) 福岡教区創立記念日(1927年)
18日(土) 天草3教会司牧訪問(～19日)
19日(日) 年間第16主日 ↑P.クレイトン(2011年 本渡教会)
20日(月) 筑後地区司祭集会
22日(水) 聖マリア(マグダラ)
23日(木) 船津師司祭叙階式
24日(金) ↑T.ダウド(2008年 手取教会)
25日(土) 聖ヤコブ使徒
健軍教会・高遊原巡回教会司牧訪問(～26日)
年間第17主日
28日(火) ↑ユスチノ戸村修(2016年 聖パウロ教会福岡修道院)
29日(水) 聖マルタ
↑T.グローガン(2004年 美野島教会)
31日(金) 聖イグナチオ(ロヨラ)司祭
【8月】
1日(土) 聖アルフォンソ(リゴリ)司教教会博士
社会福音ネットワーク会合 能古島巡回教会ミサ
年間第18主日

■ゴチックは司教日程

船員の日 メッセージ2020

教皇庁人間開発のための部署は、7月の第2日曜日(今年は
7月12日)を「船員の日」と定め、船員のために祈るよう呼び
かけています。日本カトリック難民移住移動者委員会も、海で
働く人々、特に船員・漁船員の皆さんとその家族のための祈り
を呼びかけます。(カトリック中央協議会ホームページより)

ステラ・マリス
海の人々と共に100年

1920年10月4日スコッ
トランドのグラスゴーで、一
人の司祭と数人の信徒が、グ
ラスゴー港に停泊する船の船
員たちを支援するための話し
合いを持ちました。現在は、
カトリック教会の国際組織と
なった船員司牧(AOS /

Apostleship Of the Sea)
の始まりです。今年、創立
100周年を迎えます。10月
に予定されていたグラスゴー
での世界大会は、新型コロナウイルス
に延期されましたが、この
100周年という節目は「ステ
ラ・マリス」の名称でも
親しまれている、海の使徒
職AOSについて、多くの
方により知っていただく良
い機会です。AOSの活動は、
現在56カ国、322の港で行
われています。

海運の有り様は、この
100年間に大きく変わって
しまいましたが、AOSの使徒職が
めざすものは創立時から変わ
りません。なぜなら司牧とは、
人間の全ての側面において、
すなわち、人格的、社会的
職業的、霊的次元で、船員た
ちのために奉仕することにあ
ります。

船員たちのために、世界
ではいくつもの組織が役割
を担ってきました。一つは
船員の生活と仕事に関わ
る、国際労働機関(ILO
/1919設立)。もう一つ
は、海上の安全等、海事分野
の諸問題について扱う国際海
事機関(IMO / 1948
設立)、そして健康と保健が

専門の世界保健機関(WHO
/1948設立)です。これ
らの専門機関の働きによつて
船員たちの状況は改善されま
したが、福祉や基本的生活の
保障については、まだまだ不
十分です。

20世紀初め、船員の生活は
不安定で、過酷で、無防備な
状態に置かれていました。今
日、多くの船には良い条件が
整えられつつありますが、家
族や故国から長期間離れ、港
での滞在時間の短縮等によ
り、孤独感が増えています。
また、航行と積み降ろしのス
ピード化は、大きなストレス
をもたらしています。

出身国による格差や会社か
らの不当な扱いや遺棄、死亡
いじめやハラスメント、さら
に海賊や武装強盗により人質
とされること等、人間らしい
生活労働環境確保が困難と
なっていることがしばしば報
告されています。

今、大切なことは船員に出
会うための訪問です。彼らは、
訪問者とおしゃべりをして、
一緒に過ごすことをとても楽
しみにしています。信頼関係
を築き、問題解決の手伝い、
そして社会的、法的、霊的な
支援が求められています。
今年には特に、新型コロナウイルス
のパンデミックの影響
で、海運業は未曾有の試練に
直面しています。船員とその
家族のために祈り続けましょ
う。

ステラ・マリスの聖母が彼
らをすべての危険から守つて
下さいますように。
※福岡教区内にも船員司牧担当
司祭がいます。問合せはメール
fukuoka.aos@gmail.com (Fb)。

集いの案内
について

掲載依頼のあった
集いのみ、掲載して
おります。
感染症の状況によ
っては開催が中止
となります場合も
あります。

福岡

◆

■がん哲学外来「ぬくみカ
フェ」(日時) 7月25日(土)
14時～16時半(場所) サンパ
ウロ福岡宣教センター3階
「ゲスト」那珂川病院・植木
昭代師長(参加費) 500円
(問合せ先) ☎090・11
62・6395 柴田 ※注意
当日は検温を確認・マスク着
用・布手袋着用ならさらに良
し、トイレ手洗用ハンカチ持
参

■聖ヨアキム・聖アンナの
記念日ミサ(高齢者、熟年者、
夫婦の保護者)(日時) 7月
27日(月) 14時～15時半(場所)
笹丘教会(司式) ヨゼフ・ア
ベイヤ司教(内容) ロザリオ
とミサ(問合せ先) ☎092・
761・4504 笹丘教会
■いづくしみ深い御父を讃え
る集い(日時) 8月7日(金)
14時半～16時(場所) 笹丘教
会(内容) 御父への祈り、ミ
サ(問合せ先) ☎092・8
21・6349 森※ロザリオ
をご持参ください。

佐賀

◆

■レジオマリエ福岡クリア
(日時) 7月12日(日) 14時～16
時半(場所) 鳥栖教会(問合せ)
☎0942・82・0774
古賀

教区報8月号の発行日
について

教区報8月号は7月31
日に発送予定です。通常
より数日遅れての到着と
なるかと思いますが、ご
了承ください。なお、9
月号は休刊となりますの
で、8・9月号の集いの掲
載申込は7月15日までに
広報室にご連絡ください。

広島・長崎 平和行事について

例年、平和旬間期間に行われている広島・長崎での平
和関連行事は規模縮小や中止という形で、教区外からの
参加はできません。

◆カトリック広島教区ではミサなどのプログラムは動
画配信されます。詳細は後日、広島教区のホームページ
でお知らせされます。◆カトリック長崎大司教区では当
日、各小教区で祈りを捧げるよう勧められています。

私たちも心を合わせて祈りましょう。

聖体奉仕者練成会延期・新規養成講座中止

①現聖体奉仕者のための「練成会・更新任命式」は2021
年3月まで延期します。任期満了(2020年11月22日)以
降の聖体奉仕については小教区主任司祭の指示に従う。
②新しく聖体奉仕を希望する方のため予定していた「新規
養成講座」(5月17日～11月15日)の開催はいったん中止
とします。すでに受け付けている参加申し込みは、再開時、
そのまま引き継ぎます。【教区聖体奉仕者養成実行委員会】

教区報の年間購読

新規購読申込を随時受け付
けています。購読に関する問
合は教区広報室まで。メー
ル cdf-kouhou@nifty.com
または ☎092・522・4
059

編集後記

「見よ、私は万物を新しく
する」(黙示録21章5節)。福
音の核でもある主のみ旨に立
ち戻る「新しさ」。信仰者と
して真の「新しい生活様式」
を祈り求め続けたい。(C)

人と人の絆を大切に・ご葬儀のご相談は
メモリードール

薬院・油山・野芥・小田部・今宿
馬出・南福岡・大野城・飯塚
市民葬儀・法事相談センター
六本松店・赤坂店 福岡メモリードール 検索

0120-45-1616

社会医療法人 雪の聖母会



聖マリア病院
〒830-8543 福岡県久留米市津福本町422
TEL.0942(35)3322 FAX.0942(34)3115

聖マリアヘルスケアセンター
〒830-0047 福岡県久留米市津福本町448番5
TEL.0942(35)5522 FAX.0942(34)3306

信仰や理念を共有できる医師、看護師の皆さん
と一緒に働いてみませんか

URL: http://www.st-mary-med.or.jp/

第5回
聖書動画
コンテスト
2020
作品大募集!!

作品大募集!!

応募締切:

2020.10.30

テーマ: 奇跡(ミラクル)

～あなたが今知らせたい

喜びは何ですか?

応募・問合せ: 一般財団法人 日本聖書協会
Tel 03-3567-1988 (聖書動画コンテスト) で検索
https://www.bible.or.jp/movie-contest/

キリスト教書籍・用品

お買い物は365日、24時間 いつでもどうぞ!

http://www.paulus.jp

パウルスショップ

メディアによる福音宣教のために...



サンパウロ福岡宣教センター

10:00～18:00(月～土) / 日・祝日休業 / 地下鉄赤坂駅より徒歩3分 *駐車場完備
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎092-721-2032 fax.739-3930